



2024年4月期 第1四半期 決算説明資料

2023年9月11日 株式会社フィット



証券コード：1436

本参考資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりうることをご了承ください。

会社の業績に影響を与えうる事項の詳細な記載は「有価証券報告書」の「事業等のリスク」にありますのでご参照ください。ただし、業績に影響を与えうる要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

IRに関する問い合わせ先：ir@fit-group.jp

1. 2024年4月期第1四半期	決算概要	P3~
2. 事業概況		P8~
3. 成長戦略		P14~
4. APPENDIX		P19~

2024年4月期 第1四半期 決算概要

全体サマリー	第1四半期の結果		売上1,942百万円	営業利益30百万円
	売上高 前年比94.7% 対計画進捗率 19.4%	営業利益 前年比 35.0% 対計画進捗率 5.1%		

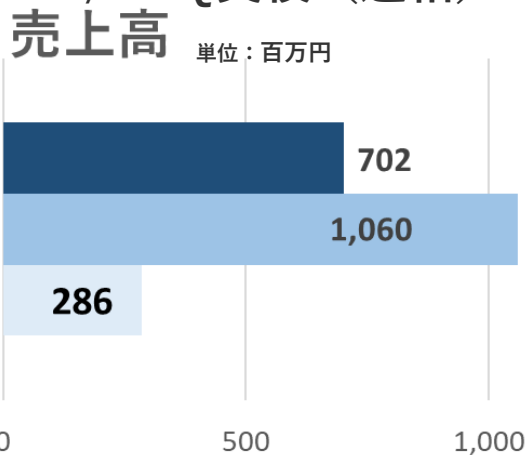
産業と社会の脱炭素	当期販売区画数 45.02区画 (前期 77.29区画)	売上501百万円	営業利益47百万円
住まいの脱炭素	販売棟数が堅調に増加 当期販売棟数 48棟 (前期 42棟)	売上1,167百万円	営業利益54百万円
アセット管理	サービス別での売上寄与度が増加 当期管理件数 1,961件 (前期 1,912件)	売上273百万円	営業利益67百万円

売上総利益については前年同期比でほぼ変わらずであったが、販管費における人材採用と育成コスト及び予定している新規サービスへの先行投資が利益を圧迫した結果となった。また、1Qに販売を予定していた物件の期ずれにより見込んでいた売上・利益が計上できなかったことも響いた。

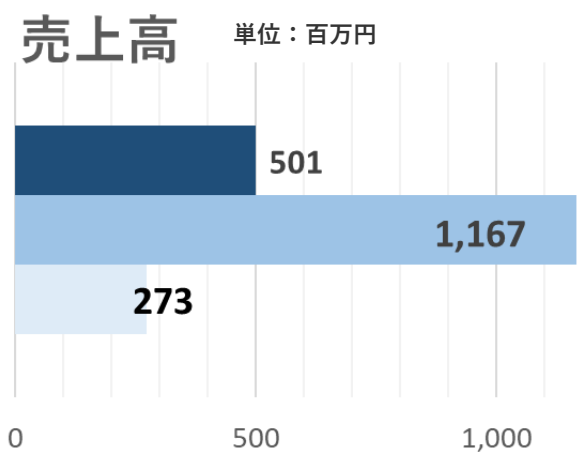
(単位：百万円)	FY23/4 1Q 実績（連結）	FY24/4 1Q 実績（連結）	対前年比	FY23/4 通期計画	対計画進捗率
売上高	2,050	1,942	94.7%	10,000	19.4%
売上総利益	496	496	99.9%	—	—
販売費及び 一般管理費	409	465	113.8%	—	—
営業利益	87	30	35.0%	585	5.1%
経常利益	81	31	39.3%	570	5.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	57	27	47.9%	360	7.5%

2024年4月期1Qは、産業と社会の脱炭素の売上は期ずれにより減少したが、利益率の高い工事の寄与もあり利益は前年同期比で増加した。住まいの脱炭素は売上は増加したものの原材料高騰の影響もあり、利益は減少となった。

FY23/4 1Q実績（連結）



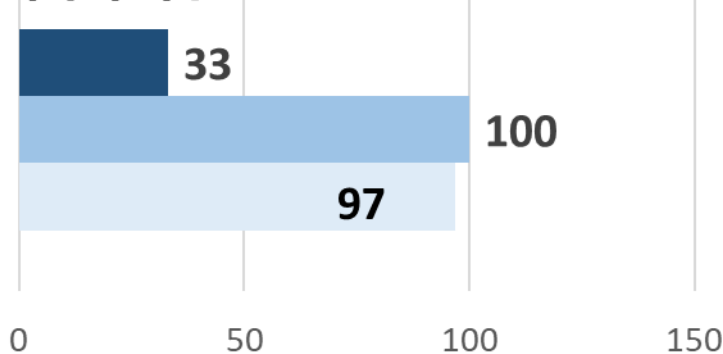
FY24/4 1Q実績（連結）



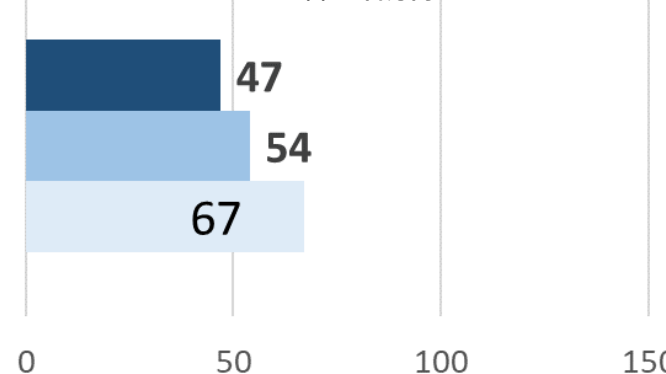
前年比 71.3%
前年比 110.1%
前年比 95.3%

- 産業と社会の脱炭素
- 住まいの脱炭素
- アセット管理

営業利益 単位：百万円



営業利益 単位：百万円



前年比 139.7%
前年比 54.0%
前年比 69.3%

連結貸借対照表

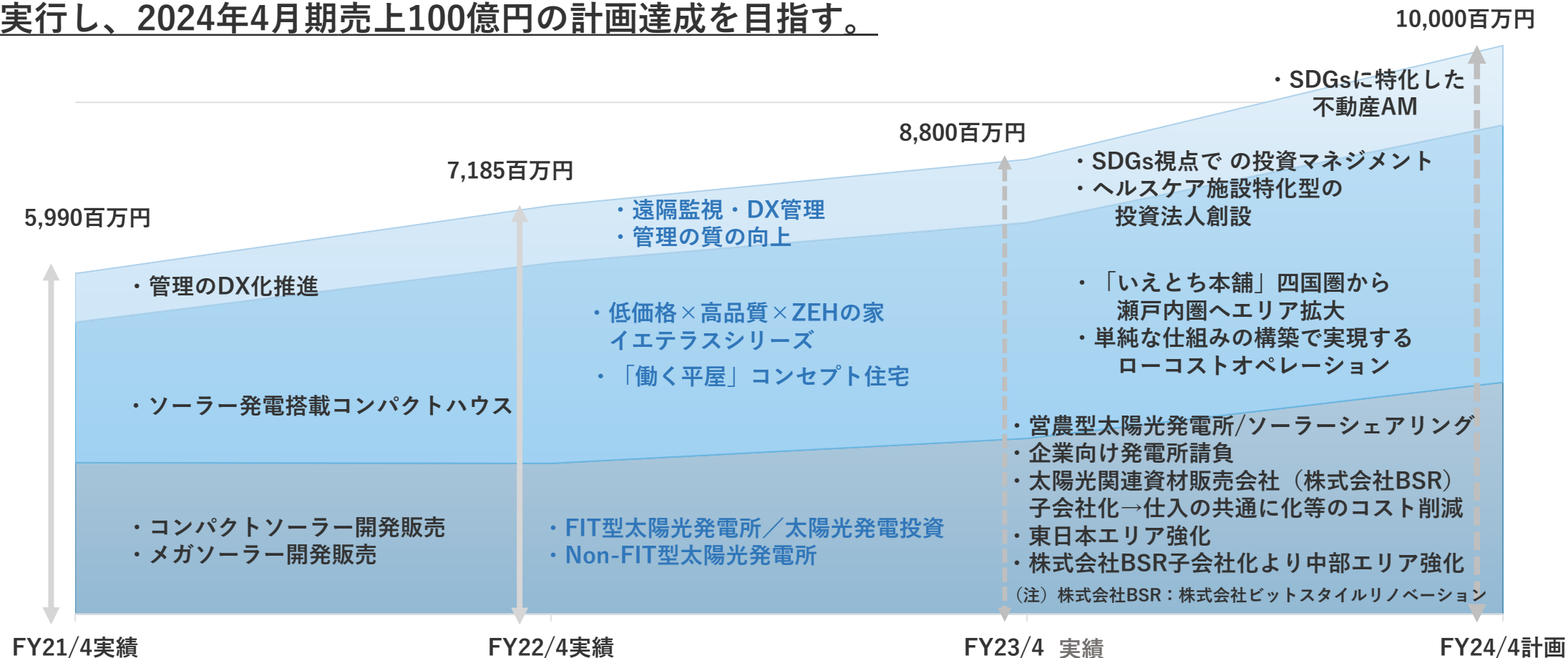
(単位：百万円)	FY23/4 期末	FY24/4 1Q 期末	対前年期末 増減額
流動資産	8,433	8,328	▲ 104
現金及び預金	2,003	1,883	▲ 120
棚卸資産	4,093	4,063	▲ 30
その他	2,336	2,381	45
固定資産	1,869	1,926	57
資産合計	10,302	10,254	▲ 47
負債	5,551	5,524	▲ 26
有利子負債	3,738	3,842	103
純資産	4,751	4,730	▲ 21
自己株式	▲ 174	▲ 174	0
負債・純資産合計	10,302	10,254	▲ 47

将来を見据えた人材採用・育成を継続したこと
及び予定している新規サービスへの先行投資に
よるコスト増

自己資本比率 46.1%

事業概況

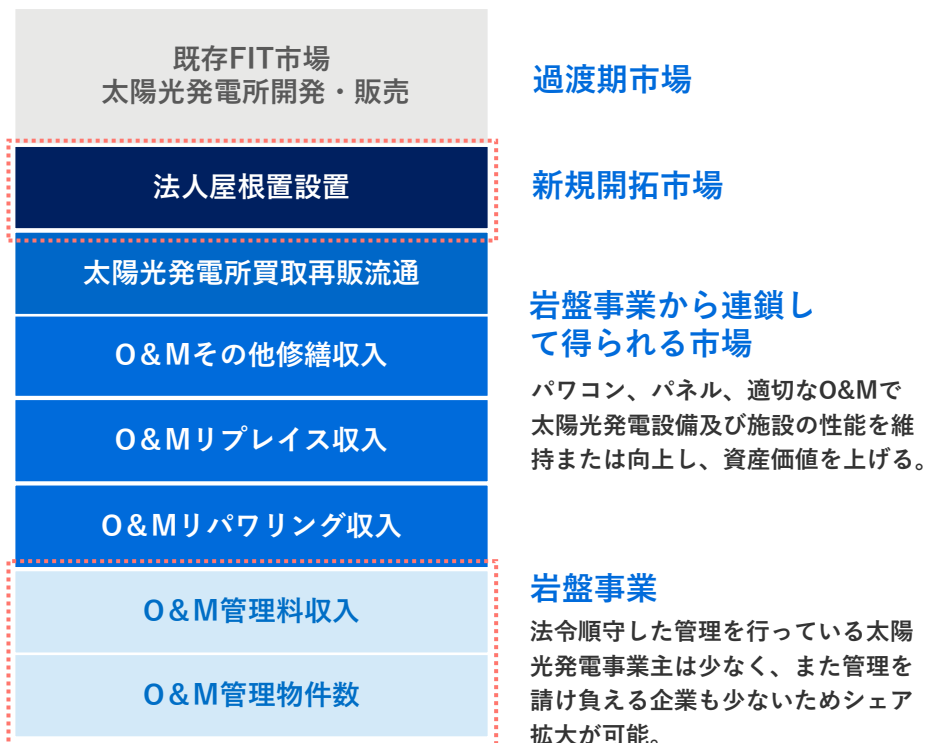
2024年4月期は前期までに築いてきた基盤をもとに、下記の施策を着実に実行し、2024年4月期売上100億円の計画達成を目指す。



全国エリア展開を実施

買収した太陽光資材関連子会社の営業体制が整い、資材販売だけではなく太陽光発電所の引き合いが出始めており、2Q以降、業績寄与が見込めるものと想定。東日本～西日本をカバーできる体制の利点を活かしつつ営業推進を図っていく。

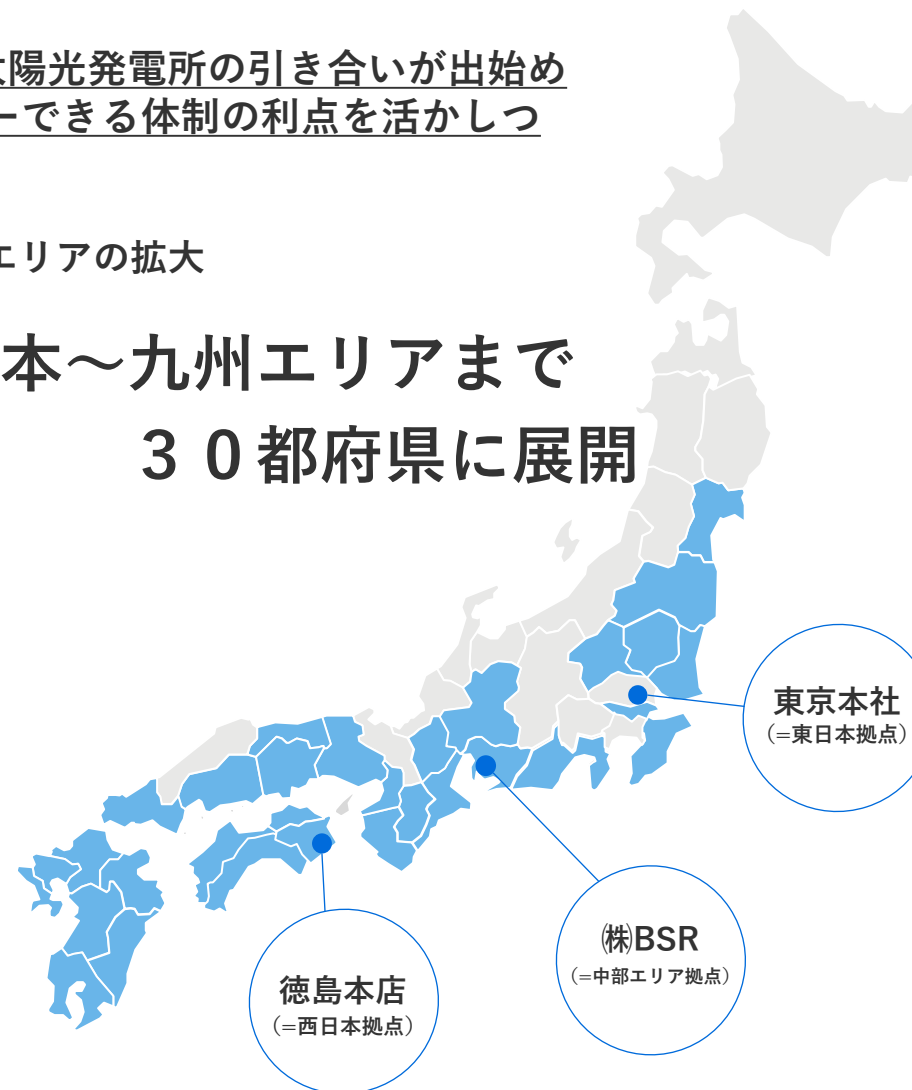
- 太陽光発電所及び不動産のストック収益の増大



- 事業エリアの拡大

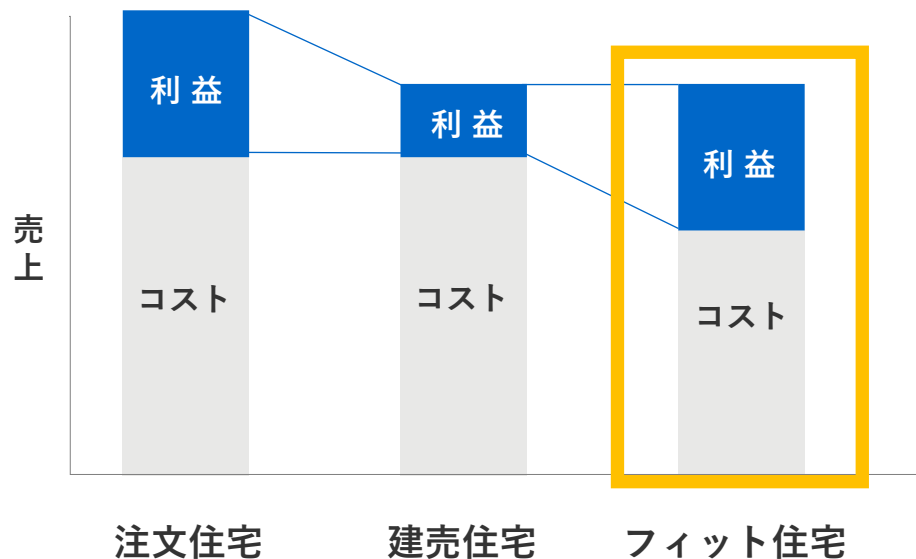
東日本～九州エリアまで
30都府県に展開

毎年安定した
期間収入源

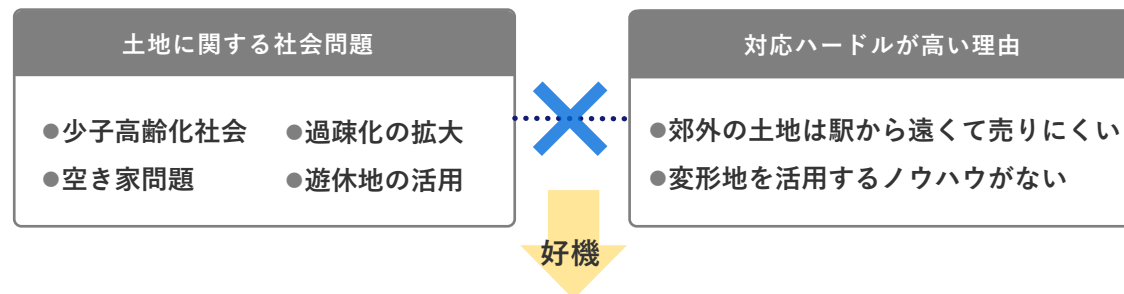


- 単純な仕組みの構築で実現するローコストオペレーション
商品やサービスを絞り込み、業界の常識にとらわれない単純な「仕組み」をつくることでローコストオペレーションを実現。かかるコストが他社よりも継続して小さくできる仕組みにより、良い商品を低価格で提供できます。

- ・商品を全て規格化し、材料ロスの削減、工期短縮等で原価削減。
- ・単純な仕組みを作ることで省人化モデルを実現。



- ユニークで社会貢献性の高い、独自の仕入れターゲットエリア
独自の仕入れ基準を持つことにより、土地余りなどの社会問題が当社にとってチャンスとなります。



■ フィットの土地仕入れターゲットエリア

ターゲットエリアの独自性 × バリュエーション力

種々の販売活動履歴分析マーケット状況分析

- 独自の仕入れ基準による他社差別化
敬遠されがちな変形地や地方農村部に至るまで、広範囲の仕入れターゲット
- 様々な要件に対応するバリュエーション力
建物の屋根でも産業用地でも、様々な条件に対応できるノウハウを所持

販売から管理・メンテナンスまで、脱炭素関連資産のワンストップサービスで、継続的にお客様の資産価値を向上します。

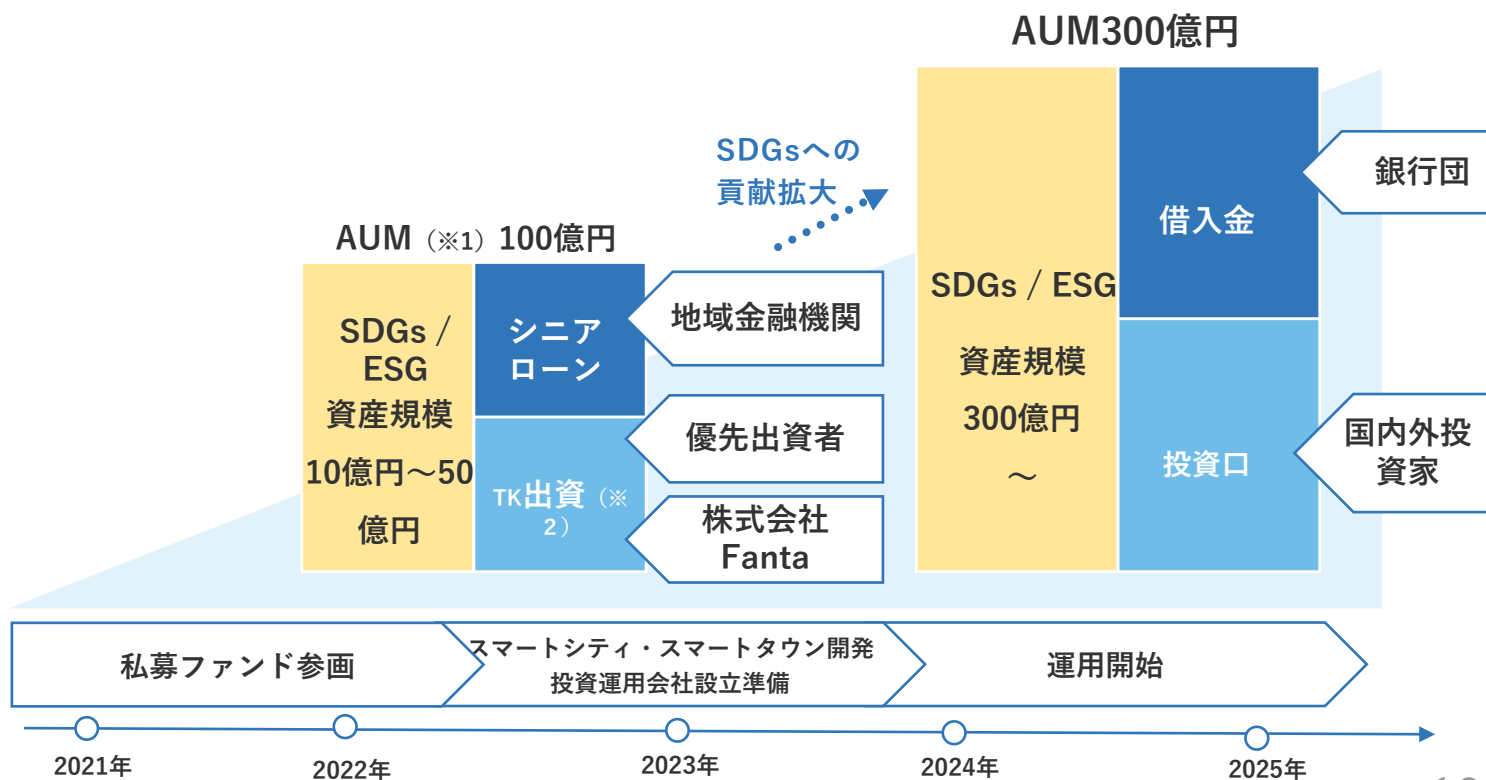
- 太陽光設備のメンテナンス等で安定したストック収益を実現



「不動産×金融」スキームで超高齢化社会におけるサステナブルな社会の実現への課題解決に、SDGs視点の投資マネジメントで貢献します。また投資した不動産の消費電力を100%再エネ化により持続可能なまちづくりを目指します。

2023年4月期投資実績

- ① ライブラリ大和町 (仙台市、認知症グループホーム)
- ② ライブラリ北仙台 / サニースポット北仙台 (仙台市、認知症+障がい者グループホーム)
- ③ ライブラリ八木山南 (仙台市、認知症グループホーム)
- ④ ライブラリななさと (さいたま市、認知症グループホーム)
- ⑤ サニースポット平岸六条 (札幌市、障がい者グループホーム)



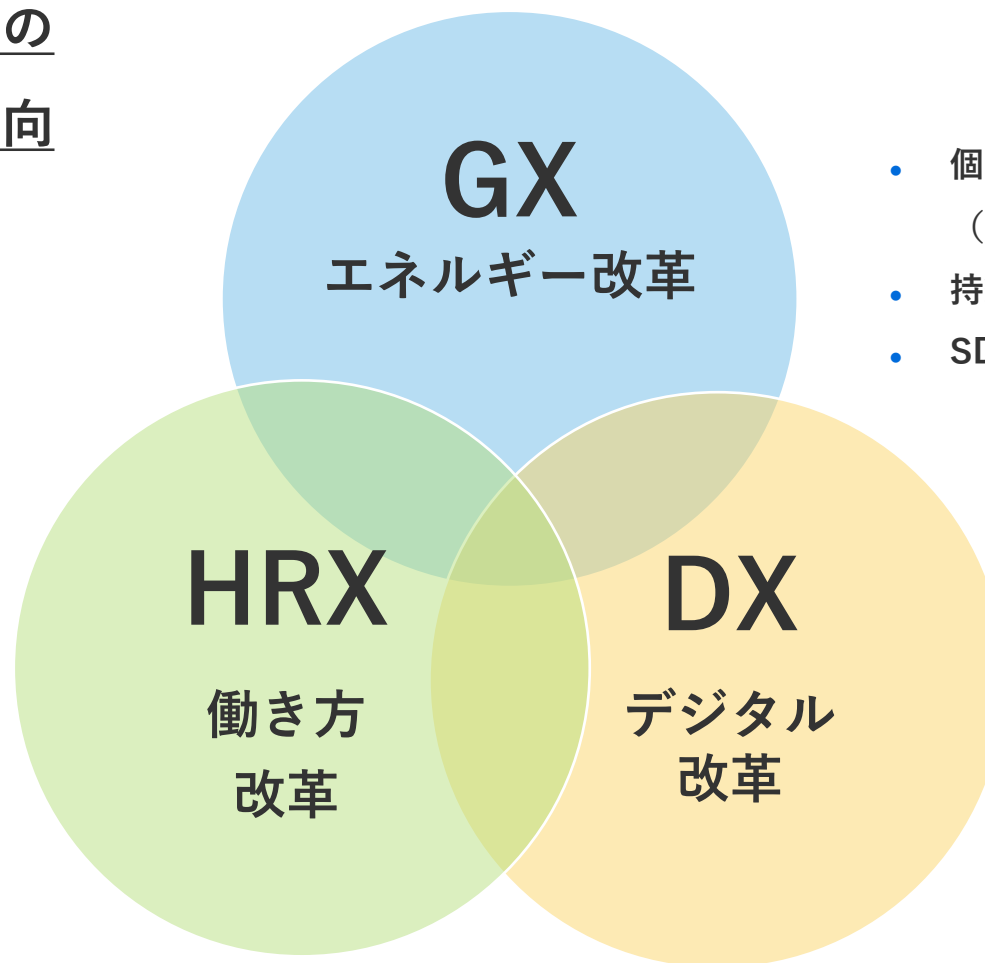
(※1) AUM (Assets Under Management : 運用総資産)

(※2) TK出資 : 匿名組合出資

成長戦略

当社は成長戦略として3つの改革を推進し、企業価値の向上を図っていきます。

- 学びによる成長と自己実現を推進
- 等級制度の改革を行い、希望に応じたキャリアアップを支援
- 社内勉強会、各種リテラシー教育の拡充
- 働く場所・労働時間等柔軟な働き方を支援



- 個人が参加できる脱炭素社会の実現（小口化）
- 持続可能な街づくりによる地方創生
- SDGsの更なる推進

- DX&コーポレート本部によるデジタル化強化
- デジタルリテラシー教育の推進

脱炭素デキルくん

脱炭素デキルくんサイトで、脱炭素にかかると世の中の流れや様々な情報が理解でき、その延長線上として興味を持って頂いた方が **クリーンエネルギー関連商品を売買できる仕組み**を目指しています。

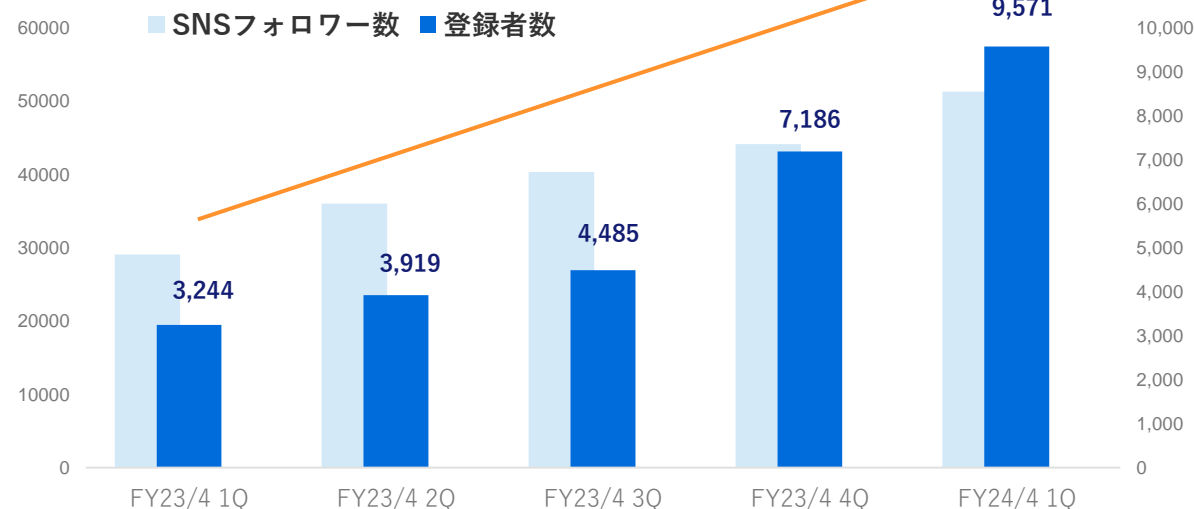
● SNS活用による顧客獲得および顧客育成



脱炭素デキルくんのさらなるコンテンツ拡充により登録数を増やし、それを導線として顧客ニーズにあった商品の販売を図ってまいります。

登録数 **10,112人** **1万登録突破!**
(2023年8月末時点)

● 脱炭素デキルくん登録数推移



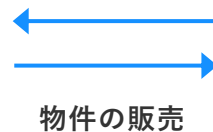
脱炭素デキルくんのコンテンツ拡充 投資用ソーラー発電所売買サイト新設

投資家・事業者が保有する売却希望物件情報をオンライン掲載することで、買いたい投資家・企業とのスピード感のあるマッチングを支援。適切な査定や売価設定の支援、購入後のメンテナンス管理を提供することでよりスムーズな取引をサポートします。

売り手 投資家・太陽光事業者



- 査定サービス、販売チャネルの提供



物件の販売

<メリット>

- 査定を通じて適切な価格で売り出せる
- スピーディな売却ができる

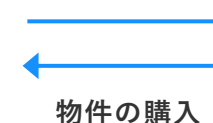


投資用ソーラー発電所をオンライン掲載
スムーズな取引をサポート

買い手 個人・投資家



- 商品情報の提供
- 保証やメンテナンスサービスの案内



物件の購入

<メリット>

- 安心して物件を購入できる
- 運用管理も任せられる

● 日本の消費者の環境意識は低い:日本の消費者は、自分の行動が気候変動に与える影響を気にする人が少ない

日常生活における自分の行動が気候変動に与える影響について、あなたは気にしていますか(%)

ときどき気にしている (37%)
 いつも気にしている (10%) } 47%

● 日本における気候変動対策のための行動変容に対する障害は

自分が何をできるか、実のところよくわからないこと (42%)



個人に参加実現には、これから最も影響を受ける世代に情報が不足していることが課題である
 脱炭素デキルくんコンテンツの一層の拡充を図り、情報提供を行っていくとともに登録数増加によりビジネスにつなげてまいります。

APPENDIX

会社名	株式会社フィット
設立	2009年4月1日
代表者	代表取締役社長 鈴江 崇文
東京本社	東京都渋谷区渋谷2丁目11-5 CROSS OFFICE渋谷Medio 8E
徳島本店	徳島県板野郡松茂町中喜来字群恵39番地 1
資本金	980百万円（2023年4月末現在）
従業員数	136名（2023年4月末現在） 臨時雇用者を除く
事業内容	産業と社会の脱炭素事業 住まいの脱炭素事業 アセット管理事業

これまでの歩みとこれから

- 2009年会社設立
- 2016年東京証券取引所マザーズに株式を上場
(現グロース市場)

